

## 青森県および長野県の市町村別たばこ売渡本数 と主要死因別標準化死亡比との関連

竹森 幸一<sup>1)</sup>

1) 青森県立保健大学

Key Words : ①たばこ売渡本数 ②市町村別標準化死亡比 ③悪性新生物 ④心疾患 ⑤脳血管疾患

### I. はじめに

2000年都道府県別生命表によると、青森県の平均寿命は男女とも最下位の47位で長野県は男1位、女3位であった。また青森県の主要死因のSMR(1998年から2002年)<sup>1)</sup>は全死因(男女)、悪性新生物(総数、男女)、同(胃、男女)、同(大腸、男女)、同(気管・気管支及び肺、男)、心疾患(総数、男女)、同(急性心筋梗塞、男女)、脳血管疾患(男女)が100を上回っていた。一方、長野県は脳血管疾患が男女とも100を上回っていたが、上に示したSMRはすべて100を下回っていた。

青森県の男の喫煙者指数<sup>2)</sup>は1.13で福井県の1.17に次いで高く、長野県の男は0.97で低い方から10位であった。女の喫煙者指数は青森県0.96、長野県0.71で共に全国平均を下回るが、青森県の方が高い。

### II. 目的

青森県および長野県の市町村別たばこ売渡本数と主要死因別標準化死亡比(以下SMR)との関連を検討することにより、市町村における喫煙の健康影響について探求することを目的とした。

### III. 研究方法

各市町村の2002年、2003年、2004年のたばこ売渡本数を同年の男女別15歳以上人口で除して、男女別15歳以上1人当たりたばこ売渡本数を求めた。青森県および長野県の男15歳以上1人当たりたばこ売渡本数の年次間の相関と平均値の差をみた。また各年の青森県と長野県の男15歳以上1人当たりたばこ売渡本数の県間の差をみた。15歳以上1人当たりたばこ売渡本数と全死因、悪性新生物(総数、胃、大腸、肝及び肝内胆管、気管・気管支及び肺)、心疾患(総数、急性心筋梗塞)、脳血管疾患のSMRとの相関係数を青森県と長野県について男女別に求めた。

### IV. 結果と考察

男15歳以上1人当たりたばこ売渡本数は両県とも年次間に高い相関がみられ(図1、2、表1)、2002年から2004年にかけて有意に低下し、2002年、2003年、2004年ともに青森県が長野県より有意に高かった。15歳以上1人当たりたばこ売渡本数との間に青森県の場合、男の2002年で悪性新生物総数、大腸、2003年で悪性新生物総数、胃、大腸、脳血管疾患、2004年で全死因、悪性新生物総数、胃、大腸、脳血管疾患に有意な正相関がみられた。女では関連がみられなかった。長野県の場合、男の2002年で胃、大腸、2003年で胃、大腸、2004年で大腸に有意な正相関がみられ、女の2002年で悪性新生物総数、大腸、2003年で悪性新生物総数、大腸、2004年で悪性新生物総数、

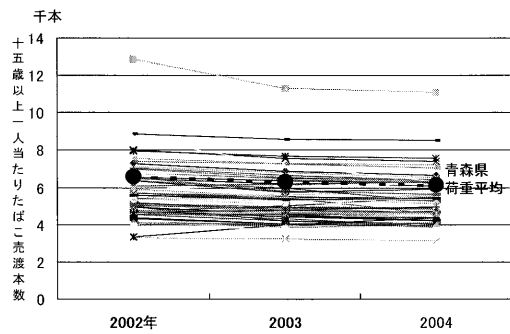


図1 15歳以上1人当たりたばこ売渡本数の年次推移 (青森県市町村別, 男)

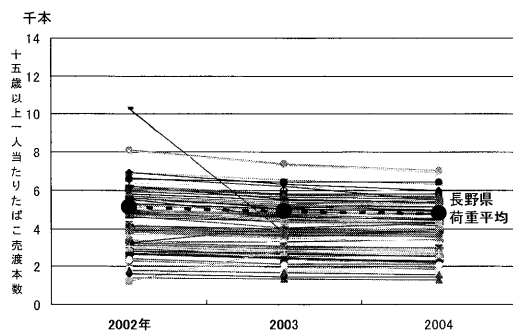


図2 15歳以上1人当たりたばこ売渡本数の年次推移 (長野県市町村別, 男)

表1 市町村別15歳以上1人当たりたばこ売渡本数の年次間の相関

		青森県		長野県	
		r	p	r	p
2002年と2003年	r	0.981	0.000	0.906	0.000
	p	0.000	0.000	0.000	0.000
	N	65	65	109	109
2002年と2004年	r	0.972	0.000	0.896	0.000
	p	0.000	0.000	0.000	0.000
	N	65	65	109	109
2003年と2004年	r	0.982	0.000	0.931	0.000
	p	0.000	0.000	0.000	0.000
	N	65	65	109	109

注: r, Pearsonの相関係数, r<sub>s</sub>, Spearmanの順位相関係数, p, 有意率, N, 標本数

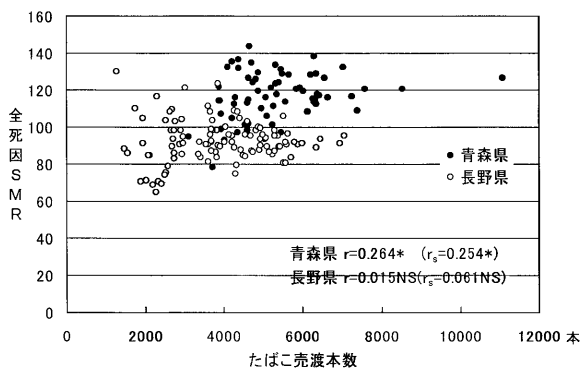


図3 15歳以上1人当たりたばこ売渡本数と全死因SMRの関連 (2004年, 男)

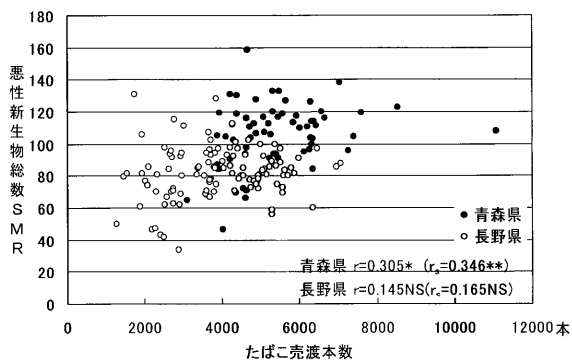


図4 15歳以上1人当たりたばこ売渡本数と悪性新生物総数SMRの関連 (2004年, 男)

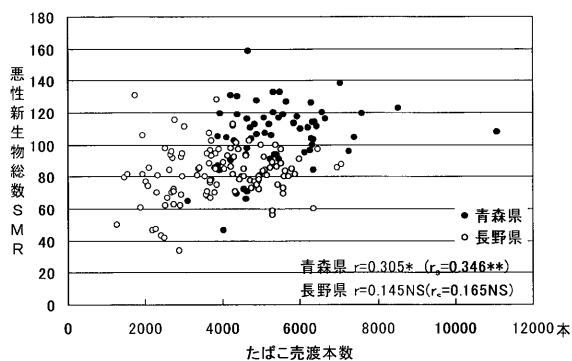


図5 15歳以上1人当たりたばこ売渡本数と悪性新生物(胃)SMRの関連 (2004年, 男)

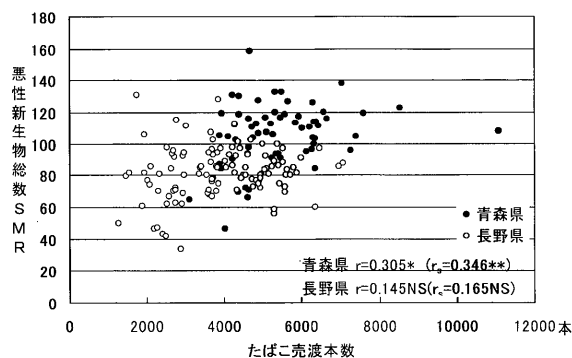


図6 15歳以上1人当たりたばこ売渡本数と悪性新生物(大腸)SMRの関連 (2004年, 男)

大腸に有意な正相関がみられた。2004年、男の相関図を図3-6に示した。市町村別たばこ売渡本数と主要死因別SMRとの相関関係から、多くの主要死因で喫煙の影響を否定しえない結果が得られた。

## V. 文献

- 1) 厚生労働省統計表データベースシステム 標準化死亡率、主要死因・性・都道府県；二次医療圏；保健所；市区町村別。
- 2) 旭伸一、大木いずみ、谷原真一、他。都道府県別観察による喫煙率と疾患別死亡率の

関連. 厚生指標 2001 ; 48 (10) : 11-5.

## VI. 発表

竹森幸一. 青森県および長野県の市町村別たばこ売渡本数と主要死因別標準化死亡比との関連. 厚生指標2007; 3月号掲載予定. 竹森幸一. 都道府県別たばこ消費本数と主要死因別標準化死亡比との関連. 厚生指標2007; 4月号掲載予定